

## 目指す姿

**安足地域では、10年後に「稼げる農業」が展開され、元気あふれる農業が実現しています。**

- プロ農家、認定農業者や新規就農者、集落営農組織、企業参入者、定年帰農者等、次代を担う農業人材が増加しています。
- スカイベリーをはじめとする主要園芸品目の生産拡大や先端技術の活用、新品種の導入が進み、高い経営力と技術力により競争力のある経営がなされています。
- 担い手への農地集積・集約化の進展に併せ規模拡大と二毛作地帯の地域性を活かした米麦等による水田の高度利用がなされています。
- 圃場の大区画化・汎用化の取組が進むとともに農業生産基盤の整備・水利施設の適正な保全管理がなされ作業効率の向上や生産コストの低減が図られています。
- 6次産業化の取組が戦略的に行われ、経営の多角化が進んでいます。
- 国際化の進展に併せ、園芸品目等の輸出が拡大しています。

**また、「棲みよい農村環境」が整備され、魅力あふれる農村が実現しています。**

- 多様な主体の参画による協働活動により、美しい景観や多様な生態系の保全が図られるとともに、心豊かな農村コミュニティが活性化しています。
- 農産物直売所等の機能強化など、地域住民や都市住民のニーズに対応した小さな拠点づくりが進み、生活の利便性が増しています。
- 地域の魅力ある情報を発信することに加え、様々な地域資源を活かした新たなビジネスが展開され都市農村交流人口の拡大が図られています。
- 中山間地域においては、農に関連したU I J ターン就業が促進され、都市住民の移住・定住に繋がっています。
- 生態系保全の取組や再生可能エネルギーの活用により、環境負荷の低減が図られています。